



にじいろレター



No.25

今回は、集中ケア認定看護師と感染管理認定看護師からのお知らせです。

集中ケア：児嶋明彦

感染管理：福田真弓、中山雄貴、筧春奈

看護手順1に「口腔の清潔（気管挿管患者の場合）」が追加されます

＜経口挿管されている患者の口腔ケアの必要性について＞

経口挿管されている患者は、

- ・鎮痛剤や麻薬などの影響により唾液の分泌が少ない
- ・常に開口状態で口腔内が乾燥している
- ・チューブによる物理的圧迫により口腔内の衛生が保ちにくい
- ・多くの病原菌や歯垢が蓄積し、粘性的バイオフィルム（図1）を形成しやすい環境である

*バイオフィルム：微生物によって形成される構造体
バイオフィルム内の細菌は、抗菌薬や消毒薬に抵抗性を示し、肺炎の原因となる

上気道の病原菌の増殖抑制および下気道への流入を最小限におさえるための口腔ケアが重要！

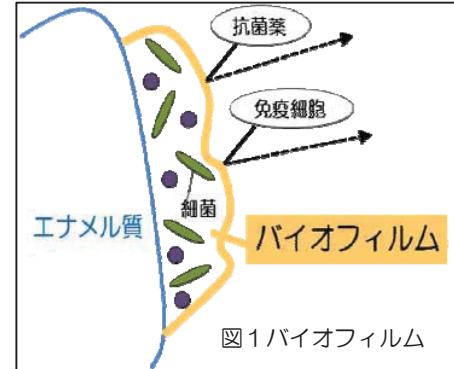


図1バイオフィルム

気管挿管患者の口腔ケアにおけるポイント

1. 口腔ケア前と後の顔の清拭

- ・口腔ケアの際は口腔周囲の皮膚に触れながらケアを行うので、医療者の手指を介して口腔周囲に付着した細菌やウイルスが口腔内に流入するのを防止する必要があります
- ・口腔ケアによって口腔内の細菌が周囲に飛散し、汚染を拡げる可能性があります
- ・清拭時に口唇周囲をマッサージすることで、開口時の口唇のひび割れの予防になります
- ・口腔ケアの前と後で顔、特に口腔・鼻腔周囲の清拭を行いましょう

2. 口腔粘膜と口唇の保湿ケア

- ・口腔内の乾燥は、細菌の増殖や粘膜の損傷を招き、舌苔が増えて舌が白色になります
- ・口唇や口角が乾燥すると出血しやすくなります
- ・口唇や舌、粘膜の乾燥が重度で口腔ケアが困難な場合は、ケア前に保湿を行います
- ・口腔ケア後、口唇にはリップクリームやワセリン（プロペト軟膏）を、口腔内には口腔湿潤剤を塗布しましょう。口腔湿潤剤は、本院の売店で購入できます

3. 口腔ケア前と後のカフ圧の確認

- ・気管チューブのカフの適正圧は 20~25cmH₂O です
- ・気管チューブのカフ圧は時間経過とともに変動します
- ・口腔ケアの前と後で、カフ圧が適正圧であるか確認しましょう
- ・口腔ケア時の気道への流れ込み予防として、口腔ケア前にカフ上吸引、口腔内吸引を行いましょう



4. ブラッシング

- ・口腔の清掃が不十分 → 歯垢の形成（歯垢はバイオフィルムの性質を持つ）
歯垢を除去するためには、歯ブラシによる機械的清掃が必要です
- ・気管チューブにもバイオフィルムが形成されるため、口腔内に見えている気管チューブの表面の汚れを歯ブラシや柄つきスポンジで落とします
- ・歯垢の蓄積しやすい歯と歯肉の境界部や、歯と歯の隙間などに特に注意してブラッシングします
- ・出血傾向にある患者に対しては、愛護的にブラッシングやマッサージを行いましょう

歯垢の菌濃度は糞便に匹敵する！

1g 中に含まれる菌濃度
・歯垢 : 10¹¹ / g
・糞便 : 10^{10~11} / g

5. ブラッシング後の汚物回収の徹底

- ・ブラッシングによってプラーカーが破壊されるため、口腔内の細菌数はブラッシング前よりも増えると言われています
- ・ケアで生じた汚物を確実に回収しなければ、口腔内に飛散した細菌の気管チューブに沿った流れ込みや誤嚥につながります

汚物回収の方法

- ＜清拭法＞柄付きスポンジやガーゼを用いて汚物を拭きとる方法
- ・細菌除去の効果は洗浄法より劣ると言われています
 - ・下気道への流れ込みのリスクを軽減できます

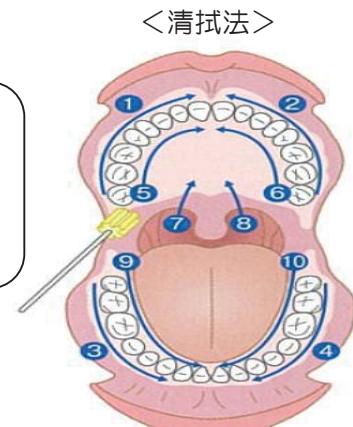
※今回作成した看護手順「口腔の清潔（気管挿管患者の場合）」は、清拭法を選択しています

＜洗浄法＞洗浄液を用いて汚物を希釈し、洗い流す方法

- ・洗浄液が下気道へ流れ込むリスクがあります
- ・洗浄ケアは2名で行うほうが、安全性が高まります

＜清拭法のポイント＞

- ・柄付きスポンジを用いて歯茎と頬粘膜の清拭からはじめ、奥から手前へと汚物を回収します
- ・一箇所の清拭毎に柄付きスポンジの汚物をおしぼりで拭き取るか水で洗い流し、水気を切つてから次の清拭を行います。適宜、吸引を行い汚物の回収に努めましょう



人工呼吸器離脱のための標準テキスト 2015 より

6. 口腔ケア物品の管理

- ・湿潤した環境は、微生物が増殖しやすい状況です
- ・汚染した口腔ケア物品を介して、微生物が患者の口腔内に流入する可能性があります
- ・歯ブラシ、コップなどの口腔ケア物品は、使用後は洗浄し、水を切って乾燥を心がけます



- ・コップに水は溜まっていますか？
- ・ブラシ部分がコップの中で濡れたままになっていますか？

口腔ケアの際は、
エプロン、マスク、手袋、
ゴーグル・フェイスシールド付きマスク 装着が基本です！